

車載用ダイヤトーン

形名

DS-G300

(17cm SEPARATE 2WAY SPEAKER)

作業者さまへ

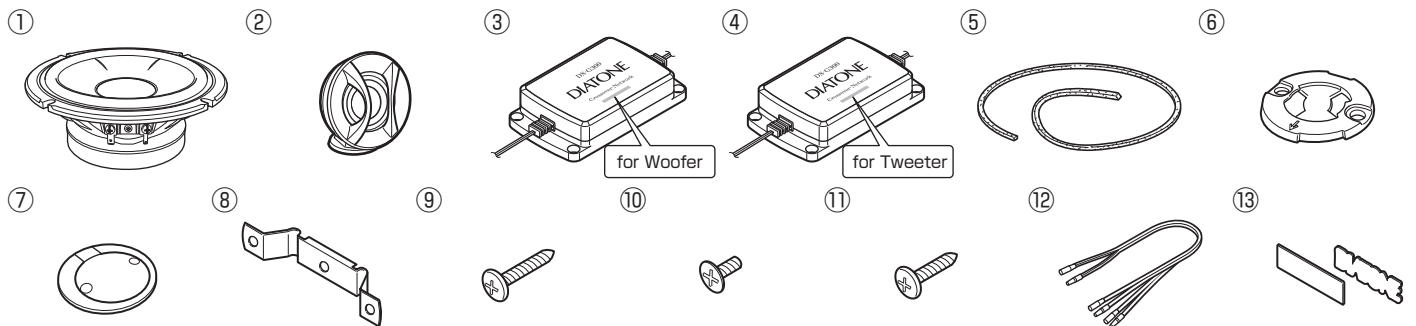
取り付け作業前に
必ずお読みください。

取付要領書

本書には、当社が蓄積してきた取り付けのノウハウが記載されています。性能を最大限に引き出すため、必ず作業前によくお読みのうえ、正しい取り付けを行ってください。ダイヤトーンスピーカーは取り付け方次第で音質が大きく変化します。本書は作業完了後お客さまへお渡ししてください。

同梱品

開梱時には、下記の同梱品がそろっていることを確認してください。



番号	名称	数量	備考
①	ウーファー	2	—
②	トゥイーター	2	—
③	クロスオーバーネットワーク(ウーファー用)	2	①ウーファー用
④	クロスオーバーネットワーク(トゥイーター用)	2	②トゥイーター用
⑤	クッションテープ	2	①ウーファー用
⑥	トゥイーター取付ブラケット	2	②トゥイーター用
⑦	両面テープ	2	②トゥイーター用
⑧	トゥイーター固定ブラケット	2	②トゥイーター用
⑨	タッピングネジ(φ4×20)	8	①ウーファー用
⑩	タッピングネジ(φ3×8)	4	②トゥイーター用
⑪	タッピングネジ(φ4×16)	16	③④クロスオーバーネットワーク用
⑫	分岐ケーブル	2	アンプ2ch接続用
⑬	DIATONEエンブレム(2種)	各2	好きな場所に貼り付けてください

これら以外に「保証書」、「取扱説明書」、「取付要領書(本書)」が入っています。

注意

・NCV 振動板は強い突き刺しで割れやすい傾向がありますのでご注意願います。

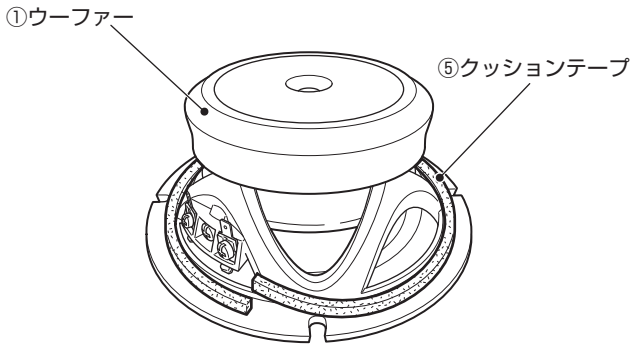


NANL00226211 16-07(A4)

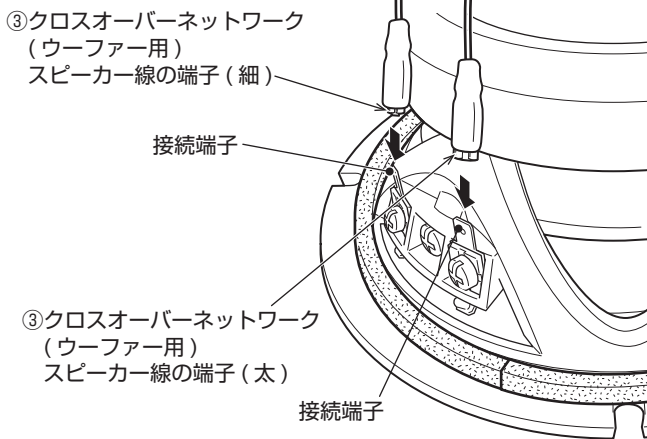
ウーファースの取り付け

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

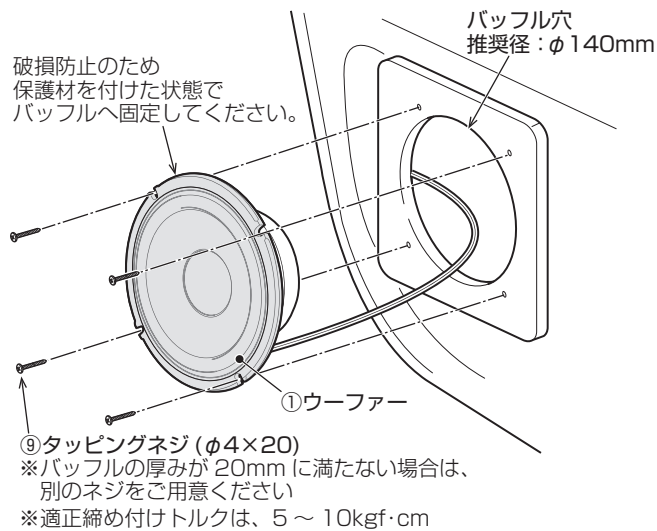
1 はくり紙をはがして、①ウーファーに⑤クッションテープを貼り付ける



2 接続端子にスピーカー線をしっかり接続する



3 ⑨タッピングネジ (φ4×20) を使って、ドア内のスピーカースペースに取り付ける



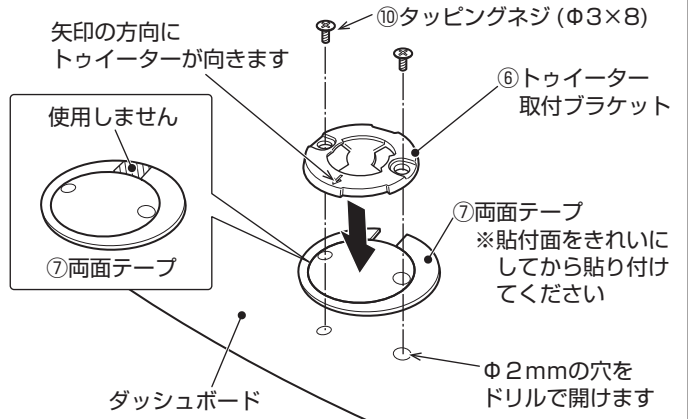
注意

- 適正以上のトルクで締め付けしないでください。フレームにヒビ割れが発生する場合があります。

ツイーターの取り付け < スタンドあり >

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

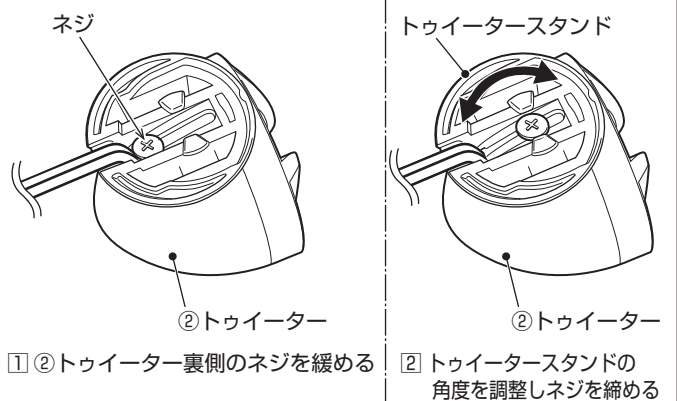
1 ダッシュボードに⑦両面テープを貼り付け、⑥ツイーター取付ブラケットを⑩タッピングネジ (φ3×8) を使ってダッシュボードに取り付ける



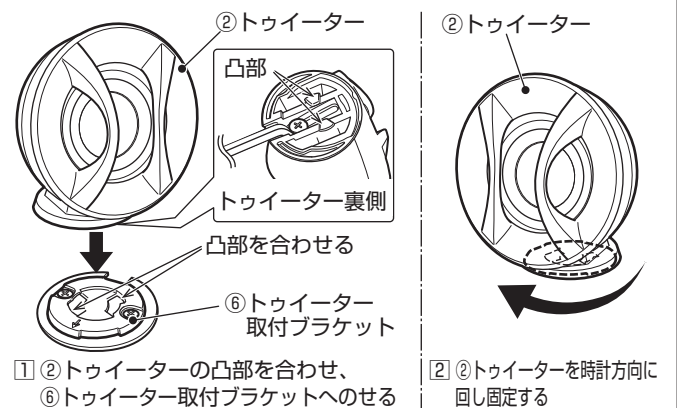
注意

- 必ず貼付面の油分・水分・ゴミ・ホコリ等をきれいに取り除いてから貼り付けてください。取り除かずに貼り付けるとツイーターが脱落する原因となります。

2 ②ツイーターの角度を調整する



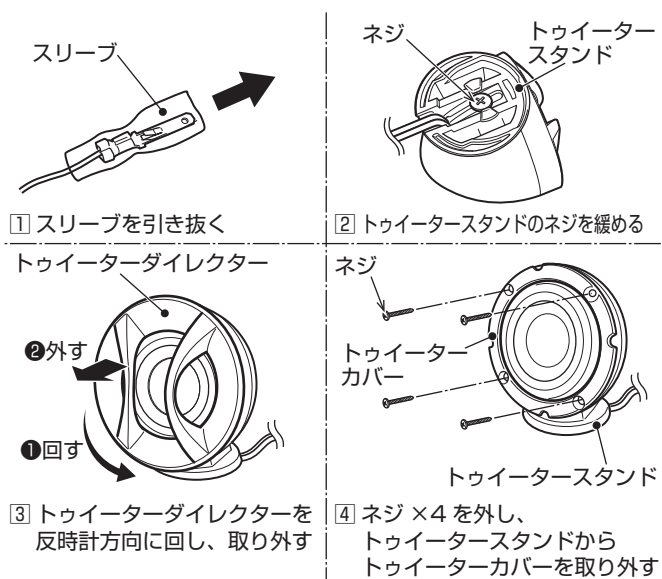
3 ②ツイーターを⑥ツイーター取付ブラケットに固定する



トワイターの取り付け<スタンドなし>

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

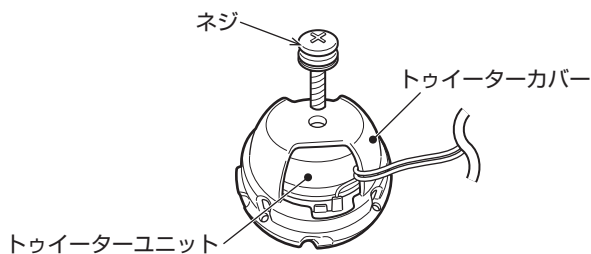
1 ②トワイターを分解する



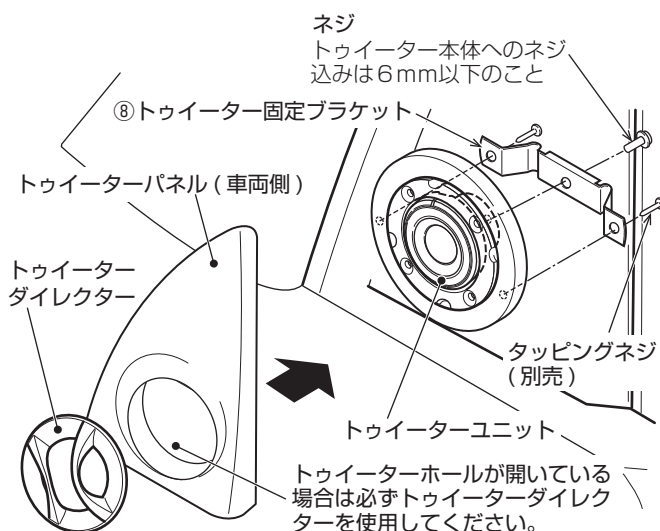
注意

- ・NCV 振動板にドライバーを突き刺さないよう慎重にネジを緩めてください。また、破損させないように慎重に分解作業を行ってください。
- ・取り外したネジが磁力により振動板に付く恐れがあります。割れや傷付きに注意してください。

2 トワイターカバーからネジを取り外す。



3 トワイタースペースなどに取り付ける (下図は取り付け例)



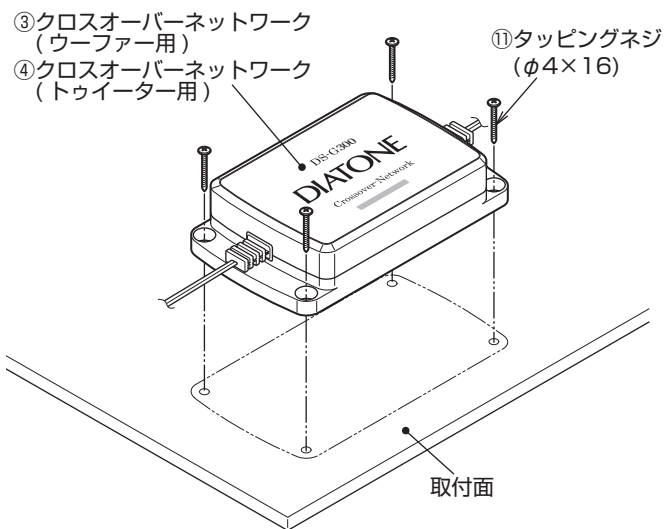
必ず実施のこと

- ・⑧トワイター固定ブラケットを固定するタッピングネジは別途ご準備ください。

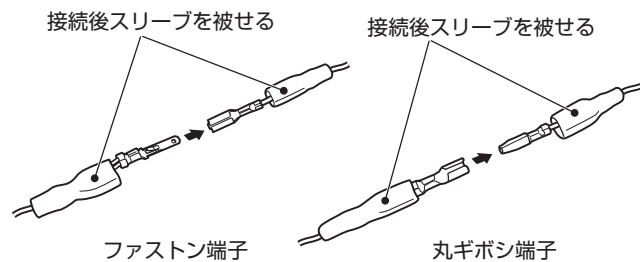
クロスオーバーネットワークの取り付け

接続方法は「クロスオーバーネットワークの接続例」を参照してください

1 ⑪タッピングネジ(φ4×16)を使ってボードに取り付ける

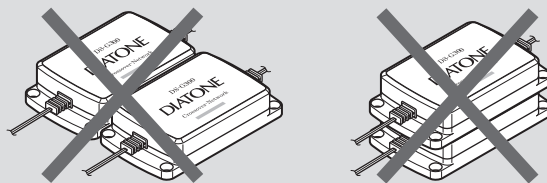


2 ③④クロスオーバーネットワークのファストン端子と丸ギボシ端子を接続する



取り付けのアドバイス

- ・ファストン端子、丸ギボシ端子はしっかりと接続してください。雑音混入の原因となります。
- ・トワイターは、取り付け位置によって逆相に接続した方がよい場合があります。お好みに合わせて、正相または逆相に接続してください。
- ・クロスオーバーネットワークの外形寸法は別紙の取扱説明書をご参照ください。
- ・クロスオーバーネットワーク(ウーファー用/トワイター用)は隣り合せた状態や重ねた状態で設置しないでください。「音の濁り」、「S/N感」、「奥行き感」の劣化につながります。できるだけ離れた位置に設置してください。また、ネジでしっかりと固定し両面テープなどで固定しないでください。



クロスオーバーネットワークの接続例

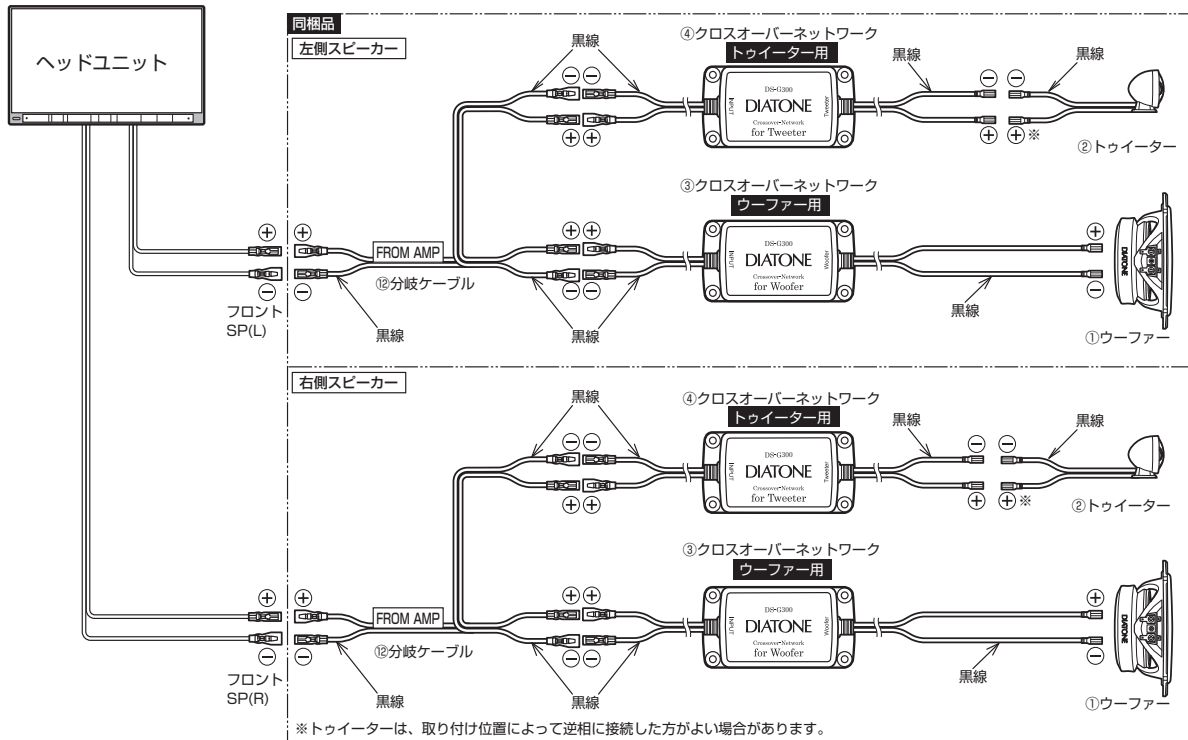
クロスオーバーネットワークについての注意とお願い

- ・クロスオーバーネットワークは必ず使用してください。また付属品以外のものは使用しないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。
- ・クロスオーバーネットワークにはウーファー用とツイーター用がありますので、必ず取付要領書でご確認の上、間違えないように正しく接続してください。スピーカーの破損や音が鳴らない恐れがあります。
- ・ウーファーまたはツイーターをクロスオーバーネットワークに接続していない状態で信号を入力しないでください。クロスオーバーネットワークの発熱や破損の恐れがあります。

■内蔵アンプ 2ch 接続例

< 音の特長 >

ウーファーとツイーターのバランスがもっとも良い音になります。



■内蔵アンプ 4ch 接続例

< 音の特長 >

バイアンプ接続による、よりエネルギッシュで情報量の多い音になります。

